

2022年12月7日

## 異業種交流委員会 2022年度 活動実績報告

委員長： 吉田伸弘 (ブラジル住友商事)

副委員長： 山下日彬 (ヤコン・コンサルタント)  
村田エリカ (鈴与ブラジル)  
江口雅之 (JICA)  
湯原慶 (ブラジル日本郵船)  
阿部康浩 (カワサキ・ド・ブラジル)  
中谷芳子 (ブラジル住友商事)

顧問 (アドバイザー)： 板垣勝秀 (パナメディカル)

### 1. 2022年度活動方針

異業種交流委員会が発足した当時の趣旨 (前身は、中小企業委員会) に立ち返り、日本からの進出企業と現地で起業された日系人企業の交流促進をイメージしながら、昨年につき本年についても、「ブラジル日系人社会をより深く知り、理解する」ことを基本的な活動のテーマとする。

但し、日系人社会を掘り下げることがメインとしつつも、その他、面白いと思うことについては、領域を定めず、商工会会員に展開するよう心掛ける。  
また、南米他国商工会との横の繋がり の構築も模索していきたい。

### 2. 2022年度活動実績報告

● 5月25日 講演 斎藤俊男氏  
株式会社ティーエス会長、在日ブラジル商工会議所 Director、NPO 在日ブラジル学校協議会理事長

テーマ： 「ネギ王・(日系二世) 斎藤俊男様の逆転人生」

参加者： 約70名

要旨： NHKの「逆転人生」でも取り上げられ、日本の経済界でも「ネギ王」として広く知られている斎藤氏に、異国・日本でのチャレンジ、事業経営者としての矜持、学校運営など様々な社会貢献への思い、などについて、ご講演頂いた。斎藤氏は、ブラジルで体育教師、その後、日本に出稼ぎで訪日し、人材派遣会社を起業。リーマンショックで億単位の借金を背負ったが、埼玉県で長ネギの生産・販売にチャレンジし、「ネギ王」と呼ばれるまでの成功を収められている。生きるパワーに溢れた事業経営者。

● 8月12日 講演 石川レナト氏

ブラジル日本文化福祉協会会長

テーマ： 「私のリーダーシップ論、一日系企業家50年の視点から」

参加者： 約90名

要旨：長年に渡り、ブラジルの通信事業 (NEC)、不動産、農業、医療部門など、様々な主要産業における事業経営の中核を担ってこられた豊かなご経験を踏まえ、リーダーとして重要な資質とは何かについてご講演を頂いた。特に、注目すべきは、抽象的、一般的なリーダー論ではなく、日本人のDNAを受け継いだ企業家が多種多様な文化を有するブラジル社会の中で、どのようにリーダーシップを発揮されてきたのか、多くの実践的学びをご共有頂いた。

尚、石川氏は、実業家としてのみならず、サンタ・クルース病院の理事長として同病院の経営に貢献され、また、現在、ブラジル日本文化福祉協会会長として大活躍されている。日系社会への恩返しとして積極的に社会奉仕活動に関与され、サンパウロ名誉市民、外務大臣賞を受賞されている。

● 11月25日 講演 西森ルイス氏

ブラジル連邦下院議員、社会民主党 PSD-Partido Social Democrático、パラナ州議会議員、パラナ日伯商工会議所理事、日本移民110周年記念式典会長、ブラジル国会議会日伯経済外交使節団団長、など

テーマ： 「大統領選挙結果を受けての今後のブラジル政治及び日伯関係」

参加者： 約75名

要旨：ブラジル大統領選の結果を受けての考察、並びに、日伯関係の課題等についてご講演頂いた。内政では、上院、下院における多数派の新政権に対する影響力など、外交面では、米国、中国、左傾化している南米各国との関係などについて、ご共有頂いた。また、国の経済力を上げていくうえで中小企業の力が重要であること、環境面ではアマゾン保護に対するブラジルの努力とその説明能力向上が必要であること、日伯関係では日本の要人の訪伯に向けご尽力されていること、また、日伯議員連盟などを通してFTAなどの課題に取り組んでおられることなどについて、幅広く語って頂いた。

また、ブラジル人の観光ビザの免除、日系人若者の日本での技術研修、日系四世枠の拡大、日系若者のネットワークプロジェクト支援など、足元の課題についても触れて頂いた。

以上